

飼料価格高騰に係る対策について(養鶏)

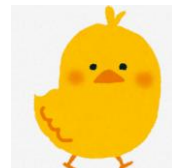
目指すのは

飼料ロスの低減
飼料効率の向上
生産性の向上（事故率低減）

日常の飼養管理の中で、どこでどのように飼料が無駄になっているかを考え、意識して対策を行いましょう。



入雛直後～幼雛期の管理



① 食いこぼしや無駄餌の防止のために

- ・ **少量の餌を頻回給与**することで、食いこぼしを防止しましょう
- ・ 入雛時には**餌付けシート**を使用しましょう
- ・ 餌付け給与時に練り餌状態（水で湿らせる程度）にすることで餌と水を効率良く摂取し、食いこぼしを最小にすることができます



市販の餌付けシートを活用したり、餌袋を切り開いて広げて敷く等しましょう



餌付けシートを使用しないと、食べこぼしが多くなり、餌が敷料に混ざり込み、無駄になってしまいます



餌付け皿の下に飼料袋を敷くことで、こぼれた餌が敷料に混ざること防ぐことができます

②飼料効率の向上のために

- ・雛が一斉に餌と水を摂取できるよう、餌付皿と給水器の数は多めに設置し、**均等に配置**しましょう
- ・餌付け時は、入雛直後にくちばしの先に餌や水をつ付けて餌と水を覚えさせましょう
- ・自動給餌器、自動給水器に移行する際は、ならし期間を設けましょう
- ・定期的に**給水器の清掃・点検を行い**、新鮮な水を常に飲めるようにしましょう
- ・**必要な時期に必要な餌をしっかりと給与**しましょう



餌付け飼料の重要性

畜産試験場川南支場の試験では、みやざき地頭鶏のひなにCP含量の高い餌付け飼料を給与することで初期発育が良好になったというデータが出ています。

えづけ飼料には体の土台となる骨格や筋肉を形成するために必要な栄養素が入っています。前期飼料、仕上げ飼料と比較して価格が高いですが、定められた週齢まで充分な量を給与しましょう。

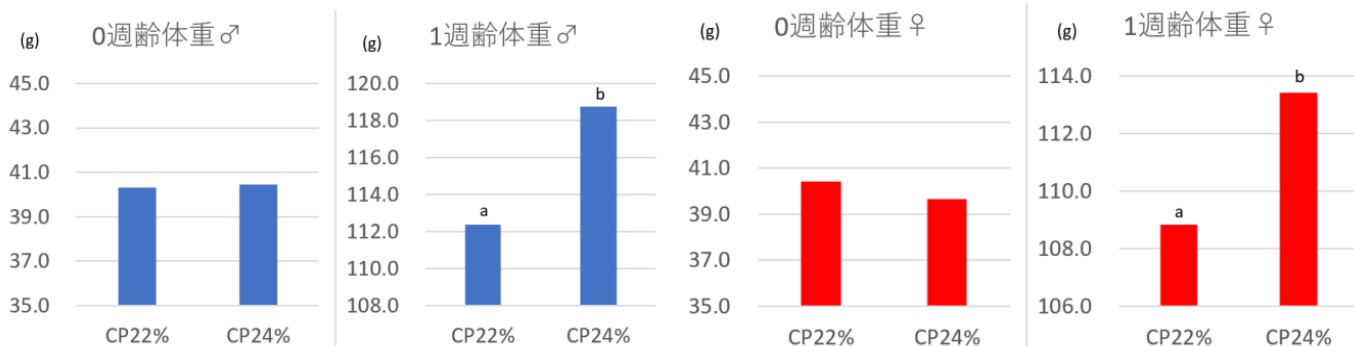


図 飼料中のCP含量とひなの増体量の比較

H30宮崎県畜産試験場川南支場 試験結果より抜粋

餌付け24時間を目安に、そのうチェック(クロップフィル)を行い、餌と水をしっかりと摂取できているか確認しましょう

- ①ひなを優しくそっと手で持ち上げ、親指と人差し指を使ってそのうを触ります
- ②各ヒナのそのうの容量を確認します

○満杯で柔らかく、丸みがある

→餌と水をしっかりと摂取できている

△満杯だが触ると元の飼料の形状が分かる

→餌は食べていますが水を飲めていない

×そのうが空である

→餌も水も見つけれず摂取できていない



※24時間後のチェックで、概ね9割ほどのヒナが満たされていれば餌付けは良好です

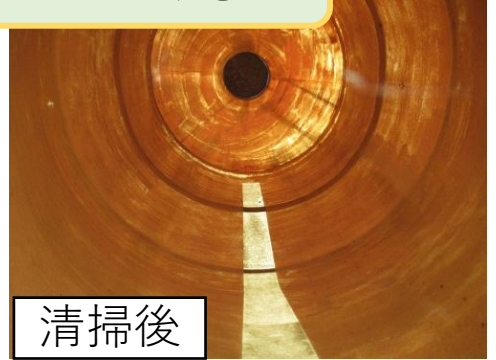
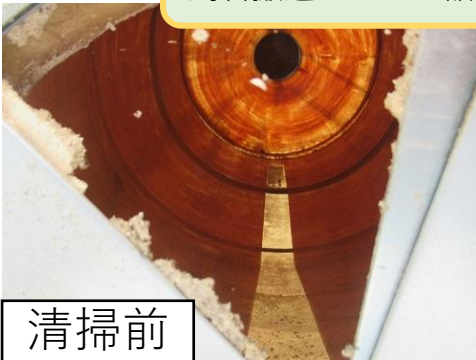
全般的な管理



③飼料タンクの管理

- ・タンク中の飼料にカビ等が生えないように、雨水の流入等に注意しましょう
- ・暑熱期は飼料タンクにカバーを掛けるなど、**タンク内の温度上昇を防ぐ対策**を行いましょう
- ・飼料タンクが空になるタイミングで内部の清掃を行って、次の飼料を受入れましょう

タンク内の飼料の塊を放置するとカビが繁殖したり、飼料搬送ラインの詰まりに繋がることもあるので注意！



暑い時期はタンクを断熱シートで覆い、タンク内の温度上昇による餌の変敗を防ぎましょう。

自動給餌ラインの場合は、規定量の餌がしっかり出ているか、定期的に確認しましょう。



④生産性向上のために

- ・生産性向上のポイントは、事故率低減です。**毎日しっかり観察**し、異常があればすぐ対応しましょう
- ・幼雛期は寒さに弱いのでかならず**保温を実施**しましょう。入雛前からの予備加温が大切です

予備加温の時間が短いと、敷料の表面が温まっても内部が冷たいことがあります。敷料や床が冷たいとヒナがおなかを冷やしてしまうので、しっかり中まで暖めましょう



⑤生産性向上のための環境・衛生管理

鶏舎の環境管理や防疫対策は、生産性を維持・向上させる上で極めて重要です。以下のポイントに留意して管理を徹底しましょう。

採卵鶏（レイヤー）

点灯トラブルは産卵率の大幅低下などの致命的な損失を招きます。点灯タイマーの定期点検（毎月）を必ず実施し、電球切れを発見した場合は直ちに交換しましょう。

肉用鶏（ブロイラー）

育成後半は多量の熱を産生物するため環境温度を低めに維持します。また、品種の特性に合わせた計画的な点灯時間コントロールを行いましょう（近年は増体を高めるLED管理技術等も活用されています）。

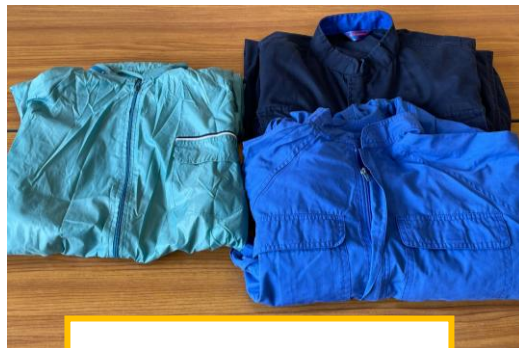
鶏舎内の環境保持（湿度管理）

床面の状態に注意を払い、過度な乾燥を防ぎましょう。

ウイルスや細菌などの病気を鶏舎内に持ち込まないように、**鶏舎専用の衣服や長靴を必ず用意し**、運用を徹底しましょう。



専用長靴



専用作業着

問い合わせ先窓口

【 中部地区 】	中部農業改良普及センター	0 9 8 5 - 3 0 - 6 1 2 1
【 南那珂地区 】	南那珂農業改良普及センター	0 9 8 7 - 2 1 - 9 5 5 0
【 北諸県地区 】	北諸県農業改良普及センター	0 9 8 6 - 3 8 - 1 5 5 4
【 西諸県地区 】	西諸県農業改良普及センター	0 9 8 4 - 2 3 - 5 1 0 5
【 児湯地区 】	児湯農業改良普及センター	0 9 8 3 - 4 3 - 2 3 1 1
【 東臼杵地区 】	東臼杵南部農業改良普及センター	0 9 8 2 - 6 8 - 3 1 0 0
	東臼杵北部農業改良普及センター	0 9 8 2 - 3 2 - 3 2 1 6
【 西臼杵地区 】	西臼杵農業改良普及センター	0 9 8 2 - 7 2 - 2 1 5 8
【 県 域 】	総合農業試験場専門技術センター	0 9 8 5 - 4 4 - 1 6 2 0
	宮崎県畜産振興課	0 9 8 5 - 2 6 - 7 1 3 8